

平成 29 年度第 1 回 富良野市地域福祉計画市民委員会議事録

日 時 平成 30 年 1 月 29 日（金） 午後 4 時 30 分～午後 5 時 50 分
場 所 富良野市総合保健センター 会議室
出席者 久田茂委員、佐藤正勝委員、濱本渉委員、佐藤里津江委員、桐澤幸子委員
羽根田俊委員、小川綾子委員、有澤浩委員 松田尚美委員、山田明委員
南部榮一委員 飯沼 巖委員
事務局 鎌田保健福祉部長、西尾福祉課長 菅原福祉係長

1. 開 会（16：30～）

（事務局） ※会長選出までは事務局で進行

- ・ただいまより、平成 29 年度第 1 回富良野市地域福祉計画市民委員会を開催します。

2. 辞令交付

（事務局）

- ・はじめに、平成 30 年 1 月 29 日付けで委嘱いたします、地域福祉計画市民委員の辞令交付を行います。

（市長より 12 名に辞令交付）

3. 市長挨拶

- ・ただ今、地域福祉計画市民委員の皆様にご挨拶をさせていただきます。
- ・平成 28 年 3 月に皆様のご提言を頂きながら策定された地域福祉計画に基づき施策の推進をしているところです。
- ・特に少子高齢化時代を迎えて国はもちろんこれらの対策を地域でどういう支え方を市民にお願いしていくのか、必要な課題の取り組みだと考えています。
- ・各専門の皆様のご意見をお聞きしながら、この計画の推進にあたって、進捗状況を確認し、見直しをする段階となっています。
- ・それぞれの立場で活発なご意見をいただきながら計画の推進をして参りたい。
- ・地域福祉の大きな変化等に対応すべく、計画についてご審議願います。

4. 市民委員の紹介

（市長公務により退席）

5. 会長及び副会長の選出

（事務局）

- ・要綱では会長及び副会長の選出について委員の互選ということになっていますが、選出方法についてお諮りいたします。

山田委員 事務局案をお願いします

南部委員 いつも事務局案で通っているんですけど、できればどなたか立候補する方はいないでしょうか？いつも同じような団体の方が会長、副会長になって議事もマンネリ化すると思うんです。もし事務局が推薦するのであればその辺も勘案して選んで欲しいです。

(事務局)

- ・ただいま、事務局案と、立候補の方がいらっしゃればその方で、というご意見がありました。どのようにしたらよろしいか再度お諮りします。

小川委員 私は事務局案をお願いしたいと思います。

(事務局)

- ・それでは、まず事務局案を提案させていただいた上で、ということでお諮りしてもよろしいでしょうか。

<異議なし>

(事務局)

- ・事務局案といたしまして会長には社会福祉法人エクウエート富良野の久田委員、副会長には富良野ボランティア連絡協議会の桐澤委員をお願いしたいと考えております。皆様いかがでしょうか？

<異議なし>

(事務局)

- ・それでは会長に久田委員。副会長には桐澤委員をお願いしたいと思います。
- ・皆様からご選任いただきました久田会長よりご挨拶いただきます。

○会長あいさつ

久田会長 ・富良野市地域福祉計画市民委員会の会長の職に就任しました久田と申します。

・市民委員会の目的といたしまして、要綱の中にもありましたけれども、地域福祉計画の実施状況について幅広い視点から委員の皆様の意見をいただきながら計画の進行管理や意見を反映させるという重要な役割を担っています。私は力不足ですが皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局)

・会長が選任されましたので、ここからは委員会設置要綱第7条に基づき会長に議長を担って頂きます。

(久田会長が議長となり議事進行)

久田会長 では、議事を進行させていただきます。
はじめに桐澤副会長よりご挨拶頂きます。

桐澤副会長 桐澤と申します。ボランティア連絡協議会に携わって10年以上たちます。本日より事前に配布された報告書を読むと、富良野市では本当に多くの事業を実施しており、多くの方が活躍されているんだなと思いました。微力ではありますが、子どもたちの未来のために、合わせて私たちがこれから迎える老後も良い富良野市になれば良いなと思っておりますのでよろしくお願い致します。

6. 協議事項

(1) 富良野市地域福祉計画平成28年度進捗状況報告書について

久田会長 本日の委員会では地域福祉計画の実施状況の把握と計画的な効果的な推進に向けた検討について、ご意見をいただく事を目的としています。

地域福祉計画では基本目標が4つに分類されておりますので、基本目標ごとに事務局より説明を受け、ご意見を頂きたいと思っております。

富良野市地域福祉計画平成28年度進捗状況報告書の基本目標1について事務局より説明願います。

菅原係長 資料1(1頁～8頁)について説明。

久田会長 ただ今説明がありましたが、何か質疑等ございますか？

飯沼委員 まず、市民委員会の開催が遅れた理由についてお伺いしたい。

久田会長 地域福祉計画44ページに計画の進行管理について記載があります。毎年度計画の進行管理を行うことになっており、本日委員会が開催されているわけですが、今年度の開催時期としては遅いのではないかとということですね。

西尾課長 平成 28 年 4 月からこの計画に基づいて事業を行ってきたところです。平成 29 年度に入った段階で平成 28 年度の事業評価を行い 29 年度もしくは 30 年度の事業について、計画の見直し等を意見反映させていく必要がありました。

事務局で 6 月 7 月くらいから事業実績の取りまとめ及び実施評価について取り組んでまいりましたが、まとめきることができず、この時期まで開催が遅れてしまいました。誠に申し訳ございません。

次年度に向けて、内容について精査をさせて頂きながら平成 30 年度は中間年にあたりますので、委員会のご意見が計画に反映させていただくように勧めて参ります。

飯沼委員 そうであれば指摘する前に言って欲しかった。元々は市民のものだから、みんな一緒にやりましょうよというコンセプトでやっているもの。我々だって良い街であって欲しいと思うし、安心して住める街だって思って欲しいからいろいろ言う訳です。

飯沼委員 4 ページの関係機関の連携促進の部分に、関係機関の連携促進につながる組織体制について検討を図ります。との記載があります。計画が進行しているのに、まだ検討しているのですか？

西尾課長 お手元の資料について、計画の内容等の欄に記載されている文言は第 2 期の地域福祉計画の内容をそのまま転記させていただいているものです。

これについて平成 28 年度の実績としてどのようなことに取り組んだのかということ H28 実績欄に記載するといったつくりになっております。

組織体制の検討を図った結果として、地域ケア会議や富良野地域自立支援協議会、相談窓口連絡会議の開催実績を記載させていただいているものであります。

飯沼委員 であれば回数少なくないですか？現場の中で話を聞かせてもらおうと、各専門機関の中でなかなか情報が共有できていないという話は聞いている。

ここで申し上げますと差しさわりがあるから忖度して言わないけど。本気になって連携に取り組んでやらないと、2025 年問題もありますし、児童福祉から高齢者福祉も含めてこの分野の地域福祉というのはすごく大事になってきて、やっぱり富良野モデルというのはあるべきだと思います。

是非そんな形でやりましょう。一緒に。

南部委員 前回もこの計画の委員だったもので、計画が進まないのが心配になって市民の声に出したことがあります。西尾課長とも会話したことがあるんで

すが、すぐ進むのかなと考えていたのですがなかなか進まなくて秋になって報告があつて遅れていたのは間違いない。資料まとめるのにどれだけ大変なのかわからないけれども今回の会議は夏場くらいにやるべきです。

西尾課長 今回この計画の報告をまとめるというのは初めてのことでありまして、どのようなかたちでまとめを行い、どのような報告を行うのがよろしいのかというところに時間をかけてしまい、開催が遅くなってしまったところでございます。申し訳ありませんでした。

次年度以降の部分につきましては、今回の会議の中でご意見をいただきながら次年度に以降に生かしてまいります。

久田会長 富良野市地域福祉計画平成28年度進捗状況報告書の基本目標2について事務局より説明願います。

菅原係長 資料1（9頁～15頁）について説明。

久田会長 13ページの避難行動要支援者名簿の整備についてどのような方が登録されているのですか？

西尾課長 避難行動要支援者名簿につきましては要介護認定区分の重い高齢者、重度の身体障害者や知的障害者、難病患者等であつて災害時の避難にお手伝いが必要な方が登録されております。

久田会長 要介護や障がいの状況等は日々変化するものであり、災害はいつ起こるかかわからないものですから、単年度でチェックして名簿等にフィードバックしていく仕組みにしていきたい。

西尾課長 平成28年度につきましては、名簿登載に同意を頂いた方が931名となっております。こちらの名簿の整理については富良野市としてシステムを導入し変更、追加等の再整備をしていく取り組みを進めてきているところでございます。

飯沼委員 行政側で作成した名簿はどのように活用しているのですか？町内会で見守り等の名簿を作ったりしていますが、それとリンクしているのですか？万が一災害が起きた時に行政は対応できる？その町内いける？全市的に災害が起きた時は間に合わないでしょ？当然地域の人たちは見守りもしているから、そこと情報共有していないとだめですよ。

役所の中では情報共有しても、対応するのは現場です、地域では災害が

起きた時に要支援者かどうかというのは全部把握できていない。それはどのようなになってます？

西尾課長 この部分に関しては保健福祉部だけで済むわけではなく、全庁的な取り組みとして考えているところであります。

本来であれば、町内会単位で自主防災組織などを立ち上げていただいたところに情報提供を行っていくというのがよろしいのかなと考えますが、すべての地域に自主防災組織ができているということにはなっておらず、民生委員児童委員がお持ちになっている住民支え合いマップを活用しての自主防災組織の立ち上げ、避難訓練を実施しているといった実績もあり行政としての取り組みとしては遅れているところであります。

避難行動要支援者名簿の取り組みとしては、まだ始まったばかりであり、今後、住民支え合いマップとの連携や情報共有はこれからの課題と考えています。

飯沼委員 早く地域と連携しましょう。個人情報の問題もある訳で、何か助け合いをしましょうと言ったら、個人情報保護法の問題も絡んでくるわけでしょう？それを盾にしてなかなか前へ進まないのが現実なんですよ。

個人情報を関係機関に出しても良いよという承諾書が得られれば使えるものだから、その辺を整備して早急に進めていかないと災害っていつどこで起きるかわからない訳だし、急ぎましょう、急ぐためにはどうしたら良いかということですよ。

行政だけのパワーだけじゃなくて、地域にも活動してくれる人が沢山いるわけですからそういう人の協力も得られれば良いと思います。それを否定する住民はいないはずですよ。

松田委員 民生委員児童委員協議会の松田です。支え合いマップの取り組みは9年前から実施しております。個人情報保護法という法律がありまして個人情報をどのように開示して良いのかというところが活動のネックになっていて、協議会で行っているマップ活動もなかなか広がっていかないところです。

行政に情報の開示を求めてもなかなか難しいと考えますが、地域で助け合いを行う小さな単位で情報を共有すれば問題のないことだと考えます。

町内会と民生委員が連携すれば、早く地域での見守り体制が作り上げることが可能と思います。

助けるということはどういうことなのか、相手のことを知ることができなければ助け合いは始まらないと考えます。要介護が高いから、身体障害者手帳を持っているから助けが必要という方以外にも助けが必要な方は大

勢いるわけです。

民生委員協議会として、取り組んでいる支え合いマップ活動について町内会単位で知るということ。知ることによって助け合いが始まる。と考えております。

南部委員 昨年ペットがいることを理由にして避難拒否するという話が全国的に問題になりまして、道で研修会が開かれました。道の動物愛護推進委員をやっているので出席し、良い話を聞いてきたのですが、市役所のどこに報告すれば良いか、担当部署がわからない。

鎌田部長 防災の避難にかかわるのでどのように対応すれば良いかということだと思います。総務課総務係が防災全体の管理をしております。そちらにお話しして頂けると情報交換ができると思います。

南部委員 全体的な雰囲気としては人間のことが大変なのにペットの話なんてとなるんですが、実際に災害が起こった地区では大問題なんです。かなり危ないのに猫がいるから、犬がいるから避難を拒否する方が結構いるらしいんです。

鎌田部長 人命第一のところですので、避難所などでもいろいろな問題があったりします。総務課で意見交換して頂ければと思います。

久田会長 富良野市地域福祉計画平成28年度進捗状況報告書の基本目標3について事務局より説明願います。

菅原係長 資料1（16頁～20頁）について説明。

飯沼委員 19ページの福祉を担う人材育成についてですが「市民協働に関する相談窓口等をわかりやすく伝える取り組みを進めます」とあります。

市民協働は富良野市総合計画の中での基本コンセプトであると思いますし、大事なことであります。

市民にたくさん参加して頂くにしても市民がその情報を持っていない場合もあると思います。その人たちにわかりやすく伝えるにしても、どういう風にしたらわかりやすく伝わるのか具体的な事例を持ってやっていって頂きたい。

市民と行政が一緒になって動くよ、働くよ、知恵を貸すよ、労力を使いますよ、時間を貸しますよという取り組みをわかりやすく伝える手段をどうしましょうということですよ。それは行政側だけで考えるのではなく

て市民側と一緒に考えてくれれば伝わりやすいですし、やりやすいので、そういった形で進めて行って頂きたい。

久田会長 ご意見として承ります。

久田会長 富良野市地域福祉計画平成28年度進捗状況報告書の基本目標4について事務局より説明願います。

菅原係長 資料1（21頁～26頁）について説明。

飯沼委員 地域包括支援センターが認知症高齢者のサポーター養成講座を開催しているということですが、講師役になるキャラバンメイトの資格を持っている方というのは個人情報なので市で教えてもらうことはできないという考え方でしょうか？

西尾課長 大変申し訳ありませんが、講師の状況がどうなっているのか現在確認できるものを用意していないので、この場ではお答えすることができません。

飯沼委員 なぜ聞くかという、2025年問題も含めて後期高齢者が急激に増えて行きますよね。そうやって来た時に、認知症は誰にも発症する可能性がある病気で、地域の中で支えて行かなければならない。住民ひとり一人が認知症サポーターになって認知症のことを少しでも理解していることが理想な訳です。

そういったことを踏まえて町内会や学校や子供たちに認知症サポーターの養成講座をやろうと企画した時に、キャラバンメイトという資格を持った人を教えて欲しいと市に要請したら、個人情報だから出せませんと言われた。

地域としては講師さえ来てくれれば認知症サポーター養成講座はできるのですから、まだそういった考え方で管理しているのかどうなのか後で確認しておいてください。

鎌田部長 当時、キャラバンメイトの中で申し合わせ事項があったものと思います。サポーター養成講座については地域包括支援センターが窓口になっておりますので、必要時には担当係に言って頂ければ調整をさせていただきます。

飯沼委員 窓口は一か所でもなくとも良いと思います。委託でもできるはずですので大勢の方が認知症サポーターになれるよう積極的に取り組んで頂きたい。

久田会長 他に意見がなければ富良野市地域福祉計画平成28年度進捗状況報告書
についての協議を終了させていただきます。

(2) 意見交換 富良野市の地域福祉推進に向けて

久田会長 それでは協議事項(2)意見交換に移ります。
富良野市の地域福祉推進に向けて何かご意見ありませんか。

飯沼委員 この会議は毎年やりますか？

西尾課長 毎年行います。

南部委員 他の審議会の委員から正規の審議会の他に勉強会みたいなことをや
っていると聞いています。日当なども含まず集まれる人だけ集まって勉強
会をやっているようです。そういったことも計画して頂きたい。

南部委員 法務省のホームページを見ると少年犯罪は減っている。一方で高齢者
の犯罪が増えている。そういうもののデータを次回教えて欲しい。
大きな犯罪ではなくて寂しさからくる万引き等のような犯罪が増えて
いると法務省のデータから出ています。

西尾課長 地域福祉計画策定の段階で犯罪率等の議論になりましたが、地域福祉
にはなじまないということで、今回の計画では関連項目を削除している
経過がございます。

南部委員 寂しさからくる犯罪と老人福祉等とはいろんな面で関連があるのでは
ないかと私自身は理解しています。

西尾課長 法務省がらみになると保健福祉部ではなく市民生活部が担当部局にな
ります。

南部委員 地域福祉計画というのはそういった枠組みを外した議論があっても良い
のではないのでしょうか。

西尾課長 地域福祉計画は富良野市総合計画の福祉部門を担うものでございます。
前回の計画を策定する時に、青少年のボランティアや健全育成の項目で
議論いただいたところ、少年犯罪等については地域福祉の部分にはなじまな
いということで、対象から外しているということでございます。
総合計画と地域福祉計画の目的から考えますと若干ニュアンスが違うの

かなというところでございます。

久田会長 他にご意見ありませんか。
なければ、これを持ちまして閉会したいと思います。

西尾課長 長時間に渡りまして富良野市地域福祉計画のご議論頂きましてありがとうございます。この会議は毎年度開催して計画の進捗状況と見直し等を含めてご議論頂き今後の計画に反映させていただきます。

この中で勉強会をとというご意見もございました。審議のために必要というような状況であれば事務局としても積極的に取り組んで参りたいと考えております。

本日は長時間にわたりご議論いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

閉会 17時50分